

鈴木明彦<sup>1</sup>：奄美群島沖永良部島に漂着したアサガオガイ

Akihiko SUZUKI<sup>1</sup> : *Janthina janthina* (Gastropoda: Janthinidae) stranded on the coast of Okinoerabu-jima, Amami Islands, southwestern Japan

アサガオガイ *Janthina janthina* (Linnaeus) は、アサガオガイ科に属する巻貝で、世界中の暖流域に分布しており、終生浮遊生活を送る (奥谷 2000)。本種の漂着は日本周辺海域では、同科のルリガイに比べると稀である。太平洋側 (小松 1991; 林 2010)、日本海側 (本間 2012)、北海道 (小林 2015)、沖縄 (盛口 2004) での漂着記録がある。今回、奄美群島沖永良部島ワンジョビーチで、アサガオガイの漂着を確認したので報告する。

2015年1月30日早朝、沖永良部島ワンジョビーチ (図1) で漂着したアサガオガイ3個体を採集した。いずれも貝殻のみで浮囊は見られなかった。種子・果実や木片などの浮遊性漂着物を伴って、波打ち際に打ち上げられていた。また、同時期にアサガオガイの漂着とともに、ルリガイの大量漂着を確認した (鈴木・圓谷 2016)。

標本1 (図2) は、完全な貝殻で、殻長21.5mm、殻径16.8mm。標本2も、ほぼ完全な貝殻で、殻長13.6mm、殻径10.7mm。標本3は殻頂の一部のみの不完全な標本である。いずれも殻は螺塔が低めで上面は白く、底面は濃い紫色を示す。

今回得られたアサガオガイは3個体のみなので、貝殻の計測値を示すにとどめ、殻長と殻径の関係等 (小松 1991; 林 2010) については、今後の機会とする。

引用文献

林 重雄. 2010. 愛知県田原市に漂着したアサガオガイ科貝類群. 漂着物学会誌 8 : 13-16.  
 本間義治. 2012. 漂着動物の自然誌—新潟と佐渡の海辺から. 94pp. 考古堂, 新潟.  
 小林真樹. 2015. 北海道中川郡豊頃町にアサガオガイとヒメルリガイが漂着. 漂着物学会誌 13 : 66.  
 小松茂美. 1991. 茨城県日立市の海岸に漂着したアサガオガイ類. ちりぼたん 21 : 95.  
 盛口 満. 2004. 青いクラゲを追いかけて. 150pp. 講談社, 東京.  
 奥谷喬司. 2000. アサガオガイ科. 奥谷喬司 (編著). 日本近海産貝類図鑑, pp. 318-319. 東海大学出版会, 東京.  
 鈴木明彦・圓谷昂史. 2016. 奄美群島沖永良部島の海岸へのルリガイの大量漂着. ちりぼたん 46 : 126-131.

(Received Feb. 1, 2016; accepted Mar. 1, 2016)

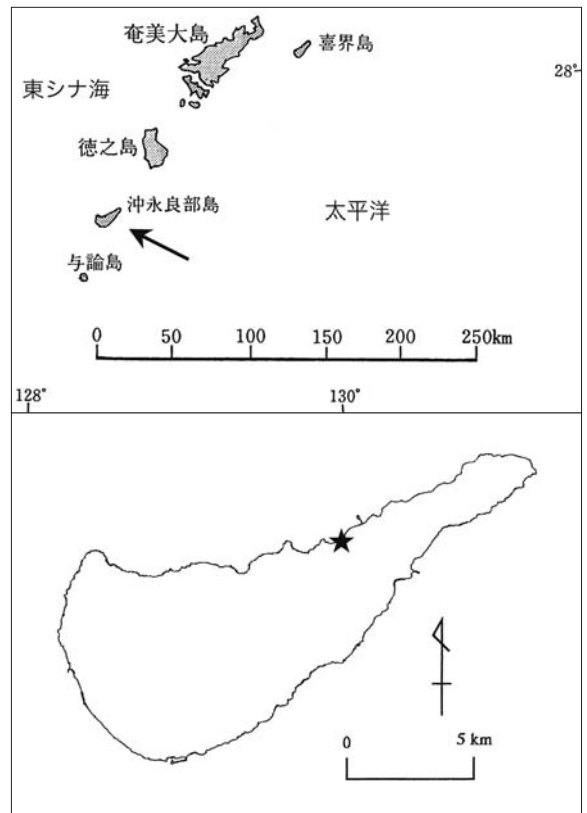


図1 沖永良部島ワンジョビーチの位置



図2 ワンジョビーチに漂着したアサガオガイ

<sup>1</sup> 北海道教育大学札幌校地学研究室 〒002-8502 札幌市北区あいの里5-3-1

<sup>1</sup> Department of Earth Science, Sapporo Campus, Hokkaido University of Education, 5-3-1 Ainosato, Kita-ku, Sapporo 002-8502, Japan